

幼児教育学科

科目名： 幼児教育演習Ⅱ				担当教員 氏名： 藤井 徳子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	専門科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：		森のようちえんや自然体験活動の現場で、実践を通して具体的に学び、自然保育技術を高める。			
授業科目の学習教育目標の概要：				キーワード	
2年次前期科目「保育実践演習」の後半にあたるもので、自然保育をテーマとし、実践的活動を通して学びを深める。アクティブラーニングの一環として、森のようちえんや自然体験活動に参加・企画・実践し、主体的に課題探求に取り組む。				<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の自然体験 ・幼児の発達理解 ・幼児の遊び ・野外活動の危機管理 ・保育援助 	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動 目 標		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力		幼児の内面理解・発達理解を深める。			
B 専門的技術		幼児期の自然体験の意義を理解し、自然保育の在り方を学ぶ。			
C 論理的思考力		個々の演習テーマ・研究課題を設定し、現場での子どもとの関わりをもとに考察を深める。			
D 問題解決力		幼児の発達に必要な経験や援助のあり方を自分なりに構築する。			
H コミュニケーション力		保育現場の方々と、また学生同士で協力し自然保育の実践に取り組み、個々の気づきや学びを共有する。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト：	%	レポート：	%	発表：	10 %
				実技試験：	%
				その他：	90 %
特記事項：受講態度やグループ活動での貢献度等の総合評価とする。					
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習 フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：					
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
① オリエンテーション (今後の演習に対する心構えと見通し)				【事後】①の復習	240
②				【事前】森のようちえん活動準備 【事後】②～③の復習	240
③ 森のようちえんⅠ					
④					
⑤				【事前】森のようちえん活動準備 【事後】⑤～⑦の復習	240
⑥ 森のようちえんⅡ					
⑦					
⑧				【事前】森のようちえん活動準備 【事後】⑧～⑩の復習	240
⑨ 森のようちえんⅢ					
⑩					
⑪				【事前】森のようちえん活動準備 【事後】⑪～⑬の復習	240
⑫ 森のようちえんⅣ					
⑬					
⑭ 全体振り返り・演習発表準備				【事前】①～⑬の復習 【事後】⑭の復習	240
⑮ 演習発表会				【事前】発表準備 【事後】課題レポート作成	240
使用テキスト： 特に使用しない。				その他参考文献など： 授業の中で適宜紹介する。 プリントなどの資料を適宜配布する。	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・前期の保育実践演習(藤井担当)の続きとなりますので前期からの継続受講が望ましいです。 ・土日の活動(幼児や親子向けの自然体験活動)もあります。					